



2023年6月30日

神奈川県ハンドボール協会
各位

令和5年度評議員会の結果について（ご報告）

神奈川県ハンドボール協会
会長 塩谷 和雄

冠省

令和5年6月18日に開催した神奈川県ハンドボール協会評議員会は、皆さまのご協力のもと、全ての審議事項についてご承認いただきましたことをご報告いたします。

草々

記

評議員数（役員兼務含む） 124名
出席者（委任状提出者含む） 77名

[審議事項の結果]

- 【第1号議案】 [2022年度神奈川県ハンドボール協会事業報告](#)
上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。
- 【第2号議案】 [2022年度神奈川県ハンドボール協会決算・積立金の状況・財産目録](#)
ならびに[監査報告](#)
上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。
- 【第3号議案】 [2023年度神奈川県ハンドボール協会事業計画（案）](#)
上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。
- 【第4号議案】 [2023年度神奈川県ハンドボール協会予算案（案）](#)
上記の説明、質疑応答の後、満場一致をもって決議した。

以上

【第1号議案】

事業報告書（2022年度）

神奈川県ハンドボール協会
理事長 本田 眞吾

1. 要旨

2022年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大（第7波および第8波）に悩まされた1年間となったが、これまで積み重ねてきた活動継続の手法を用いつつ、2022年3月27日評議員会で承認されたKHAビジョン2022に謳われる「KHA運営の基本姿勢」に則り、新たに編成された3部9委員会が掲げる活動指針に沿って事業を行った。

具体的には、キッズハンドボール体験教室、小学生ハンドボール教室の開催、ビーチハンドボールや車椅子ハンドボールに関する研究、カテゴリー別の審判講習会、JSP O資格スタートコーチ講習会、指導者研修会（コンプライアンス研修）の開催、そして各種別の競技力向上対策事業といった、社会と未来に向けてハンドボールの可能性を広げる活動である。

その成果として、県内大会の全てを予定通り実施したこと、関東高校大会（6月・藤沢市）、全日本ビーチ大会（10月・三浦市）の開催を安全・安心のもとに支援したこと、本県選手の国際大会での活躍（第9回男子ユースアジア選手権4位）、チームの全国大会における上位進出（ジャパンオープントーナメント・女子4位、全国中学校大会・男子準優勝、全日本学生選手権大会・女子準優勝、日本選手権大会・男子初出場初勝利）、審判員登録者数が全国9位から4位に上昇したこと、指導者育成に関してコーチ3（4名）、スタートコーチ（46名）の公認資格取得を促進したことが挙げられる。

評議員会においては、2022年6月19日に、事業報告・収支決算および監査報告、事業計画・予算案が賛成承認された。

2. 登録状況

(1) チーム登録料は対前年度比97.6%（73,000円減）となった。

カテゴリー別の増減は下表の通りである。

カテゴリー	2022年度	2021年度	増△減
一般A	5	4	1
リージョナル	0	1	△1
大学	17	18	△1
高等学校	141	143	△2
中学校	97	101	△4
中学クラブ	1	2	△1
小学生	18	14	4

ビーチ	3	0	3
-----	---	---	---

(2) 個人登録料は対前年度比 96.9% (2,400 円減) となった。

カテゴリー別の増減は下表の通りである。

カテゴリー	2022年度	2021年度	増△減
一般A	104	89	15
リージョナル	0	15	△15
大学	391	383	8
高等学校	2,916	3,012	△96
中学校	2,016	2,140	△124
中学クラブ	11	10	1
小学生	283	274	9
ビーチ	24	0	24

(3) 審判登録者数は、新規・更新を合わせて過去最高の水準となった。

3. 大会等開催状況

- | | |
|----------------|---|
| (1) 社会人大会 | 関東クラブ・社会人県予選、国体県予選（成年男子）
日本選手権県大会、関東クラブ・社会人県予選（R5） |
| (2) 中学生大会 | 県新人大会（春全中予選） |
| (3) 小学生大会 | 関東少年少女県予選、ドリームカップ、ゆめカップ |
| (4) 高校生大会 | 選抜2次予選 |
| (5) 県選手権大会 | 中学生の部・高校生の部 |
| (6) 小学生・JOC選抜 | 選手選考を行い大会に参加 |
| (7) 審判講習会 | 資格取得者の書類審査、
カテゴリー別講習会の開催（小・高・社会人） |
| (8) スタートコーチ講習会 | 8月、12月に開催（46名受講） |
| (9) 交流戦（新企画） | 9月、3月に開催（延30チーム超が参加） |

4. 協会運営

事務管理経費の節約に努めて堅実な運営を行った。1. 要旨にある多くの功績について広く表彰することで、ベテランが生き活きとして、若者が夢を持てる組織にすることを目指した。

5. 委員会運営

各委員会において掲げた運営指針と予算に則って堅実な活動を行った。

総合企画委員会は、アンテナ張り、情報収集に徹したが、予算執行を伴うアクションに至らなかった。

地域振興委員会は、目下の課題であるスポーツ庁発公立中学校の部活動地域移行への対応において、2023（R5）年度から3年間の改革集中期間が改革推進期間に改称されるなど、先行きが不透明であり投資に至らなかった。

6. 強化事業

(1) 選手強化事業

スポーツ協会補助金を活用して強化を行った結果、成年女子が関東ブロック大会で代表権を獲得した。本国体（とちぎ国体）では、延長戦を制してジャパンオーブンの覇者（山口県）に勝利したが、JHLの女王（石川県）に敗戦した。

事業総額	2,157,737 円
スポーツ協会補助金	1,950,000 円
本会自主財源	173,447 円
参加者負担	34,290 円

(2) ジュニア強化事業

中学生選抜チームは、JOC関東大会において女子が準優勝、男子が3位の好成績で全国大会出場を果たしたが、徳島県で開催された本戦では、残念ながらどちらも予選リーグを突破することができなかった。

小学生選抜チームは、男子が予選リーグで不運にも同率の2位となったが、決勝リーグでは2勝して4位となった。女子は予選リーグで2位となり、全体で6位となった。

事業総額	2,622,295 円
スポーツ協会補助金	1,000,000 円
本会自主財源	1,199,915 円
参加者負担	422,380 円

7. 派遣事業

関東クラブ・社会人大会（B級審査・6月）、関東学生リーグ（A級審査・9月）、JOC関東大会（9月）、日本選手権関東大会（10月）、小学生選抜大会（1月）、関東高校選抜大会（2月）に審判員を派遣した。

8. 特別事業（ブロック大会開催）

関東高等学校大会

新型コロナウイルス感染拡大第6波の収束により、開催2週間前に保護者等の観戦が可能となった。対策費用増が懸念されたが、運営チームの組織的な対応力とコストミニマムの追及により、予算内で実施することができた。

9. 予備費の使用

次年度全国高校総体開催地（北海道函館市）の大きな負担となっている熱中症対策費に対して支援した（クラウドファンディング）。

以上

2022年4月1日から

2023年3月31日まで

神奈川県ハンドボール協会

【収入の部】

[単位：円]

科目	当年度予算	当年度決算	差額	摘要
登録金収入	4,830,000	5,260,800	△ 430,800	チーム登録料 2,956,000 (対前年度比 97.6% 73,000減) 選手登録料 2,231,100 (対前年度比 96.9% 2,400減) 審判登録・認定料 73,700
参加料収入	1,850,000	2,387,670	△ 537,670	関東少年少女県予選 75,000 4.12.3月開催)小学生大会 450,000 国民体育大会県予選(成年男子) 30,000 関東社会人・クラブ県予選(R4) 40,000 関東社会人・クラブ県予選(R5) 40,000 日本選手権神奈川県大会 40,000 中学新人戦(春全中予選) 119,000 県選手権大会(中学の部) 354,000 県選手権大会(高校の部) 419,000 9.3月開催)交流戦 180,000 強化事業参加者負担金 456,670 8.12月開催)スタートコーチ講習会受講料 184,000
補助金収入	6,250,000	5,165,740	1,084,260	神奈川県スポーツ協会補助金
選手強化事業補助金	1,950,000	1,950,000	0	選手750,000、女子特別1,200,000
ジュニア強化補助金	1,000,000	1,000,000	0	同上 次世代(小中高)に対する補助
アスリート育成事業補助金	0	0	0	
一貫指導体制モデル事業費補助金	0	0	0	
派遣費補助金	2,900,000	2,037,240	862,760	関東ブロック大会選手・監督派遣旅費 支給額)1,759,240 確定額)1,523,720 差引額)235,520 本国体大会選手・監督派遣旅費 支給額)1,206,520 確定額)513,520 差引額)693,000
健康管理事業補助金	400,000	178,500	221,500	国体選手健康診断受診費に対する補助金
雑収入	217	52	165	預貯金利息
積立金取崩収入	0	0	0	
前年度繰越金収入	4,257,870	4,257,870	0	
前受金収入	0	0	0	
前期末未収入金回収	149,913	149,913	0	
前期末前受金	0	0	0	
期末未収入金	0	△ 18,800	18,800	
収入合計	17,338,000	17,203,245	134,755	

【支出の部】

[単位：円]

科目	当年度予算	当年度決算	差額	摘要
分担金支出	571,500	571,500	0	
日本協会分担金	116,500	116,500	0	日本ハンドボール協会分担金
関東協会分担金	310,000	310,000	0	関東ハンドボール協会分担金
県スポーツ協会分担金	145,000	145,000	0	神奈川県体育協会分担金および賛助会費
役員登録費(日本協会)	200,000	155,600	44,400	日本ハンドボール協会役員登録費
協会運営費	1,530,000	1,575,486	△ 45,486	
会議費	180,000	181,500	△ 1,500	Zoom Meeting Pro 8ID年間使用料, 会議室利用料
印刷費	300,000	313,450	△ 13,450	競技会案内印刷製本、役員名刺
事務局運営費	200,000	159,812	40,188	通信料、振込手数料、ネットバンキング利用料など
表彰費	150,000	369,160	△ 219,160	年間優秀選手・特別賞・功労賞、記念品・賞状
役員等出張旅費	400,000	287,564	112,436	
報酬委託費	300,000	264,000	36,000	税理士業務相談、監査報酬
大会運営費	2,000,000	1,896,836	103,164	
社会人大会運営費	200,000	354,114	△ 154,114	関東社会人・クラブ(R4.R5)、国民体育大会県予選 日本選手権神奈川県大会、交流戦(9.3月)開催費用
中学新人戦運営費	250,000	243,780	6,220	県中学校新人戦(春全中県予選)開催費
関東少年少女県予選運営費	150,000	141,253	8,747	関東少年少女大会県予選開催費
県選手権運営費	1,000,000	877,073	122,927	県選手権大会開催費 (高校選抜2次予選含む高校の部および中学の部)
小学生大会運営費	400,000	280,616	119,384	ゆめカップ新人戦(4.3月)、ドリームカップ(12月) ゆめカップさよなら・新人戦(3月)開催費
委員会運営費	1,650,000	1,301,927	348,073	
総合企画委員会運営費	50,000	0	50,000	
広報・IT委員会運営費	300,000	242,000	58,000	ホームページメンテナンス管理費
GC委員会運営費	50,000	45,960	4,040	指導者研修会・コンプライアンス研修会(3月)開催費
地域振興委員会運営費	50,000	0	50,000	
競技委員会運営費	250,000	110,000	140,000	競技用品ラインテープなど
審判委員会運営費	300,000	278,039	21,961	映像分析ソフト、審判用通信機器など
競技力向上委員会運営費	250,000	245,760	4,240	映像分析ソフト、体育館使用料など
LS委員会運営費	400,000	380,168	19,832	スタートコーチ講習会(8.12月) キッズハンドボール体験会(10月) 小学生ハンドボール教室(12月)開催費
審判員派遣事業	500,000	271,904	228,096	
審判員派遣費	500,000	271,904	228,096	関東ブロック大会派遣審判員旅費
競技力向上対策事業費	8,850,000	7,832,392	1,017,608	
強化事業費	4,350,000	4,780,032	△ 430,032	国体(成年、少年)、JOC、小学生選抜チームに対する強化事業(予算超過分は参加者負担金を充当)
派遣費	3,400,000	2,406,760	993,240	国体チーム旅費(派遣旅費補助金額を超える金額は 関東ブロック大会におけるコーチ3名/種別の旅費)
健康診断受診費	900,000	538,000	362,000	国体(成年、少年)選手の健康診断費
負担金等	200,000	107,600	92,400	国体関東ブロック大会参加料 本国体参加料・登録料(成年女子)
特別事業費	500,000	466,079	33,921	6月開催関東高校大会 役員スタッフポロシャツ264,000円含む
積立金	0	0	0	
予備費	109,078	50,220	58,858	R5全国高校総体(北海道函館市開催)クラウドファンディング
期末未払金	0	△ 418,045	418,045	3月分未払、未精算経費など
前期末未払金	927,422	927,422	0	前年度分強化事業補助金返還
前払金	0	0	0	
前期末前払金	0	0	0	
支出合計	16,838,000	14,631,321	2,206,679	
収入支出差引残高	500,000	2,571,924	△ 2,071,924	

2022年度 神奈川県ハンドボール協会 [積立金の状況]

2022年4月1日から2023年3月31日まで

名 称 神奈川県ハンドボール協会

銀 行 名 ゆうちょ銀行 通常貯金

積立金の状況 2,809,966 円 (通常貯金)

(積立金内訳)

項 目	①過年度累計額	②当期積立額	③当期取崩額	①+②-③ 積立金合計
積 立 金	2,782,192	0	172,360	2,609,832
選 抜 チームユニフォーム 更 新 積 立 金	200,000	0	0	200,000
利 息	112	22	0	134
合 計	2,982,304	22	172,360	2,809,966

1) 2017年度以前の利息の累計は不明

2) 当期取り崩し額172,360円は本国体出場成年女子の役員2名の旅費 (スポーツ協会補助金対象外経費) に対する拠出

2022年度 神奈川県ハンドボール協会 [財産目録]


2023年3月31日現在

銀行名	預金種別	用途	金額
ゆうちょ銀行	通常貯金	経常費	863,914
	通常貯金	積立金	2,809,966
	郵便振替口座	参加費納入口	0
横浜銀行	普通預金	補助金受入口	370,930
	普通預金	国体成年男子	86
	普通預金	国体成年女子	689,942
	普通預金	国体少年男子	395,522
	普通預金	国体少年女子	125,370
	普通預金	ジュニア小学生	66
	普通預金	ジュニアJOC	868
	普通預金	ジュニア高校	20
	普通預金	競技力向上委員会運営	125,206
現金			0
		小計	5,381,890
		期末未収入金	18,800
		期末未払金	△ 418,045
		合計	4,982,645

2023年5月25日

監査報告書

神奈川県ハンドボール協会
会長 塩谷 和雄 殿

監事 細井 義彦 

監事 嶋 貫 裕 

私たちは、神奈川県ハンドボール協会会則第12条に基づき、神奈川県ハンドボール協会の2022年度の会計書類、即ち2022年4月1日から2023年3月31日までの収支決算書ならびに積立金の状況について監査を行った。

この監査に当たって、私たちは帳簿突合、証憑突合、その他必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果、私たちは上記の会計書類が、神奈川県ハンドボール協会会則に従って適正に作成されているものと認める。

以上

【第3号議案】

事業計画案（2023年度）

神奈川県ハンドボール協会
理事長 本田 眞吾

1. 要旨

政府は経済活動正常化のため、新型コロナウイルス感染症を5類感染症に移行し、個人の選択尊重、自主的な取り組みをベースとするという劇的な変化をさせているが、世界的な天候不順や災害、長らく解決しない戦争・紛争、世界エネルギー情勢の混迷、諸物価高騰と、取り巻く環境は複雑さを増し、将来の予測が困難な状況である。

このような状況下、4つの特別事業（①関東クラブ・社会人選手権大会開催②関東KTS開催③関東小学生選抜大会開催④関東協会70周年記念事業協力）を実施、成功させるため、今年度は積立金の取り崩しを行う。

数次の消費税増税や郵便料金値上げに対して、合理化や慎重な予算執行で対応してきたが、事業の発展・継続に必要な安定した財政基盤を構築するために、新たな資金獲得方法（クラウドファンディングや賛助会員制度など）の探求や実行、登録料・参加料等改定の研究や起案を行っていく。

2年目となった3部9委員会においては、其々の活動指針に沿ってさらに進化・発展させた事業を展開する。少子化、デジタル化、部活動の地域移行化、時代の変化に背を向けることなく対応していくために、常に現場に立って、問題解決の糸口や珠玉の情報を掴んでいく。

2. 登録

(1) チーム登録

保守的に昨年度登録実績の95%を予算計上する。

(2) 個人登録

保守的に昨年度登録実績の95%を予算計上する。

(3) 審判登録

昨年度は、5つ順位を上げて全国4位となった。

全国トップの期待を込めて増額計上する。

3. 大会等の開催

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い有観客での開催を基本とするが、安心・安全の確保のために組織的運営を強化する。公認指導者養成については引き続き力点を置き講習会を開催する。

- | | |
|------------|---|
| (1) 県選手権大会 | 社会人・高校生・中学生 |
| (2) 社会人大会 | 国体県予選、関東クラブ・社会人県予選
日本選手権県予選ほか |
| (3) 中学生大会 | 新人戦（春全中県予選） |
| (4) 小学生大会 | 関東大会県予選（1次・2次）
ドリームカップ、ゆめカップ（さよなら・新人戦） |
| (5) 中学生選抜 | 選手選考を行いブロック大会・全国大会に参加 |
| (6) 小学生選抜 | 選手選考を行いブロック大会に参加 |

- (7) 審判講習会 資格取得講習会ほか
- (8) 公認指導者資格講習会 スタートコーチ養成講習会（8月）

4. 協会運営

業務DX推進を継続するため、印刷費支出を削減し、クラウドストレージサービス導入（事務局運営費）に振り向ける。

一方、「ベテランが生き活きと活躍し、若者が夢を持てるKHA」を実現するために、表彰費を15万円増強する。

5. 委員会運営

各委員会の活動指針を軸足に業務立案、予算管理を適切に行っていく。

- (1) 総合企画委員会
神奈川県ハンドボール協会（KHA）のブランディング戦略
財政基盤・組織力・社会的信用力の強化
JHL開催（10月、3月厚木、4月川崎）に併せたファン拡大施策
- (2) 広報・IT委員会
ホームページ運用管理充実とSNS利活用による愛好家拡大
協会業務DX化のための研究
- (3) ガバナンス強化・コンプライアンス管掌委員会（GC委員会）
コンプライアンス宣言の遵守
様々なハラスメントに応じた通報・相談体制の構築
国体等選手選考における規程遵守の確認と支援
ガバナンス・コード策定に向けた研究
研修会開催検討
- (4) 地域振興委員会
7地区協会の情報交換、課題抽出、問題解決、スポーツ協会加盟推進
部活動地域移行化改革推進期間（今年度から3年間）の最新情報キャッチと共有
- (5) 競技委員会
地区協会との連携などにより、体育館の確保状況を拡充
県内大会運営方法の検討
全国大会と同程度の大会を実施するために必要な資機材の調達・更新
- (6) 審判委員会
一貫継続指導を実現するためのゲームアナライズ
上記実現のための講師招聘、映像分析ソフトへの投資
数の確保（資格取得講習）と質の向上（上級審査）
女性審判員の発掘と育成
審判員新規程の周知
- (7) 競技力向上委員会
パフォーマンスプログラムに沿った選手の発掘（トライアウト）と育成
選考基準に則った選手選考の実施
映像分析ソフトへの投資
- (8) ライフスポーツ委員会（LS委員会）
スタートコーチ講習会の開催（8月）、公認コーチ3取得のための支援
小学校授業展開に向けた講習会の開催（新企画）
小学生ハンドボール教室（10月予定）
部活動地域移行化などの最新情報に関する研究と情報展開

ビーチハンドボール、車椅子ハンドボール、ストリートハンドボールに関する研究

6. 審判員派遣事業

関東協会より求められている国体・JOC・日本選手権・小学生選抜・高校選抜の関東ブロック大会への審判員派遣を実施する。

また、上級審査（A級・B級）受検者を審査となる大会へ派遣する。

7. 競技力向上対策事業費

7年間続いた県スポーツ協会「女子特別強化補助金」は残念ながら非該当となったが、ジュニア強化補助金が190万円（90万円増額）となった。

より高い投資効果を実現するために次のことを実施する。

(1) トレーナー、アナライザーに対する派遣旅費について昨年度新設の補助金を有効活用する。

(2) 県スポーツ協会補助金の対象経費とならない登録コーチ3名/種別の交通費・宿泊費について、関東ブロック大会分を予算化する（中科目：派遣費）。

(3) 国体ユニホームの更新（成年女子）

(4) 小学生選抜開催地ユニホーム取得のためのクラウドファンディングを研究・実施

8. 特別事業（ブロック大会開催）

- | | | |
|--------------------|-----------|------|
| (1) 関東社会人・クラブ選手権大会 | 6月23日～25日 | 藤沢市 |
| (2) 関東KTS | 12月2日 | 藤沢市 |
| (3) 関東小学生選抜大会 | 1月20日・21日 | 小田原市 |
| (4) 関東協会70周年記念事業協力 | (記念誌購入) | |

以上

【第4号議案】

2023年度 神奈川県ハンドボール協会 収支予算書（案）

2023年4月1日から
2024年3月31日まで

神奈川県ハンドボール協会

【収入の部】				[単位：円]
科目	当年度予算	前年度予算	差額	摘要
登録金収入	5,000,000	4,830,000	170,000	チーム登録料 2,800,000 選手登録料 2,120,000 審判登録・認定料 80,000
参加料収入	1,750,000	1,850,000	△ 100,000	社会人大会参加料（交流戦等含む） 250,000 高校生大会参加料 560,000 中学生大会参加料 420,000 小学生大会参加料 400,000 スタートコーチ講習会受講料（30名） 120,000
補助金収入	5,450,000	6,250,000	△ 800,000	神奈川県スポーツ協会補助金
選手強化事業補助金	500,000	1,950,000	△ 1,450,000	同上（選手500,000、女子特別なし）
ジュニア強化補助金	1,900,000	1,000,000	900,000	同上 次世代（小中高）に対する補助（90万円増額）
アスリート育成事業補助金	0	0	0	本年度該当なし
一貫指導体制モデル事業費補助金	0	0	0	同上
派遣費補助金	2,900,000	2,900,000	0	国体チーム旅費に対する直接補助
健康管理事業補助金	150,000	400,000	△ 250,000	国体選手健康診断費に対する一部補助【実績勘案】
雑収入	276	217	59	受取利子ほか
積立金取崩収入	1,800,000	0	1,800,000	
前年度繰越金収入	2,571,924	4,257,870	△ 1,685,946	
前受金収入	0	0	0	
前期末未収入金回収	18,800	149,913	△ 131,113	
前期末前受金	0	0	0	
期末未収入金	0	0	0	
収入合計	16,591,000	17,338,000	△ 747,000	
【支出の部】				[単位：円]
科目	当年度予算	前年度予算	差額	摘要
分担金支出	571,500	571,500	0	
日本協会分担金	116,500	116,500	0	日本ハンドボール協会
関東協会分担金	310,000	310,000	0	関東ハンドボール協会分担金
県スポーツ協会分担金	145,000	145,000	0	神奈川県体育協会分担金および賛助会費
役員登録費（日本協会）	160,000	200,000	△ 40,000	【実績勘案】
協会運営費	1,530,000	1,530,000	0	
会議費	180,000	180,000	0	Web会議システム利用料ほか
印刷費	100,000	300,000	△ 200,000	競技会案内の印刷製本を廃止
事務局運営費	250,000	200,000	50,000	クラウドストレージサービス導入、事務用品、通信運搬費、手数料等
表彰費	300,000	150,000	150,000	年間表彰式賞品・賞状・開催費用
役員等出張旅費	400,000	400,000	0	事務用品等（実績勘案）
報酬委託費	300,000	300,000	0	
大会運営費	1,900,000	2,000,000	△ 100,000	
社会人大会運営費	300,000	200,000	100,000	関東社会人・クラブ予選、国体県予選、日本選手権県大会、交流戦ほか
中学新人戦運営費	250,000	250,000	0	県中学校新人大会（春全中予選）開催費
関東少年少女県予選運営費	150,000	150,000	0	6月大会開催費
県選手権運営費	900,000	1,000,000	△ 100,000	1,2月大会開催費
小学生大会運営費	300,000	400,000	△ 100,000	12月、3月ドリームカップ、ゆめカップ開催費
委員会運営費	1,650,000	1,650,000	0	
総合企画委員会運営費	100,000	50,000	50,000	JHL開催（10月、3月厚木、4月川崎）に併せたファン拡大施策
広報・IT委員会運営費	300,000	300,000	0	HP管理費・撮影費
G C委員会運営費	50,000	50,000	0	指導者研修会・コンプライアンス研修会（3月）開催費
地域振興委員会運営費	50,000	50,000	0	
競技委員会運営費	150,000	250,000	△ 100,000	競技用品ラインテープなど
審判委員会運営費	300,000	300,000	0	映像分析ソフト、審判用通信機器など
競技力向上委員会運営費	400,000	250,000	150,000	映像分析ソフト、体育館使用料など
L S委員会運営費	300,000	400,000	△ 100,000	小学校授業展開向講習会（7月） 100,000 スタートコーチ講習会（8月） 100,000 小学生ハンドボール教室（10月） 100,000
審判員派遣事業	300,000	500,000	△ 200,000	
審判員派遣費	300,000	500,000	△ 200,000	関東ブロック大会派遣審判員旅費【実績勘案】
競技力向上対策事業費	8,310,000	8,850,000	△ 540,000	
強化事業費	4,160,000	4,350,000	△ 190,000	〔強化事業〕 国体（成年、少年）チームに対する強化事業 1,200,000（内200,000は成年女子ユニホーム更新費用） 〔ジュニア強化事業〕 U-15ジュニアセレクト、小学生選抜に対する強化事業 2,960,000（内360,000は小学生選抜ユニホーム購入費用） （予算超過分は参加者負担金を充当）
派遣費	3,400,000	3,400,000	0	国体チーム旅費（派遣旅費補助金額を超える金額は関東ブロック大会におけるコーチ3名/種別の旅費）
健康診断受診費	550,000	900,000	△ 350,000	国体（成年、少年）選手の健康診断費【実績勘案】
負担金等	200,000	200,000	0	国体関東ブロック大会参加料 本国体参加料・登録料
特別事業費	1,300,000	500,000	800,000	関東社会人・クラブ（6月）開催費 400,000 関東KTS（12月）開催費 100,000 関東小学生選抜大会（1月）開催費 300,000 関東協会70周年記念事業協力（記念誌購入） 500,000
積立金	0	0	0	
予備費	101,455	109,078	△ 7,623	
期末未払金	0	0	0	
前期末未払金	418,045	927,422	△ 509,377	前期分選手強化・ジュニア強化補助金精算
前払金	0	0	0	
前期末前払金	0	0	0	
支出合計	16,241,000	16,838,000	△ 597,000	
収入支出差引残高	350,000	500,000	△ 150,000	